

「テレビ番組制作 30 年の経験を通して皆さんに伝えたいこと」

～勝山高校時代およびマスコミの昔と今～

出口 忠夫 氏

① 日本の放送 ～NHK と民間放送～

- ・テレビは以前は地上放送と衛星放送だけだったが、現在はネットからパソコンで見たりスマホで見たり、色々な方法が可能になった。
- ・NHK は公共放送で受信料を頂いていることもあり、日本全国どこに居ても受信できないといけない。事故や事件が発生したら全国民に伝える義務があり、民間放送とは違う役割を持っている。
- ・民放はスポンサーがつかないと番組が製作できない。放送局が多いと経営が成り立たないため福井では民放 2 局。2 局なのは日本でも宮崎県、山梨県など少なく、東京は 6 局、石川県でも 4 局。民放局が少ないところは逆に CATV（ケーブルテレビ）が普及している。
- ・一つの番組を制作するのに沢山の人が携わる。そのため協調性が必要だが、協調性だけではだめで、黙っていると次から声がかからない。
- ・チームワークで仲良くやっているように見えるが基本的には競争。そのためプレッシャーもかかる。

② NHK の番組制作のあれこれ

- ・テレビ番組は多くの方が携わって制作されている。
- ・何かをする時には、チームワークが必要となるが、黙っていると埋もれてしまう。

* ドラマ「坂の上の雲」の撮影時の写真などを用いて撮影状況の説明

現在は映像技術が進歩しており、合成技術を使えば、海の上でなくても海上の撮影が出来るなど、どんな画像もできる。

今は撮影現場でも女性の進出が増えてきており、1/3 は女性のスタッフ。照明など重い機材を運ぶこともある職場でも女性スタッフは多い。

スタジオもコンピュータ化が進んできており、今後、AI は不可欠なものになるため IT 技術などは勉強した方が良い。

* スポーツ中継（大相撲、プロ野球、ゴルフ）

プロ野球の中継のホームランボールなどをカメラで追う時など、ファインダーを見ながらボールを追いかけても間に合わない。打った瞬間、勘でカメラを動かしている。経験による職人芸が必要。

③ 私が担当した番組制作の経験から

- ・色々な番組を担当してきたが多くの失敗もしてきている。

- ・ソウルオリンピック（1988年）の男子100m決勝を担当。スポーツはドラマとは違い撮り直しが出来ない、またオリンピックの花形の男子100m決勝ということで、緊張と猛烈なプレッシャーがかかった。結果、スタート時にカメラがぶれるという大失敗をしてしまった。
- ・色々なことで経験すると思うが、度胸だけは付けておいた方が良い。そのためには日ごろから恥をかくこと。恥をかいておくと、いざという時に度胸がでる。
- ・「I'm sorry」と「sorry」の違い
イギリス国営放送のBBCとNHKとでドラマの共同製作をしたとき、ミスがあり製作が遅れた。互いの番組責任者との場で私が冒頭「I'm sorry」から始めてしまったところ、BBCのスタッフは「NHKが全責任を負うと認めた」ということで直ぐに帰ってしまった。（公式の場では「Sorry」で済ませべきだった）。今後、グローバル化が進んでいくため、英語は大事。文化の違いもあるが、聞いて喋ることが出来るようにしておいたほうが良い。
- ・これから仲間と衝突もあるが、言いたいこと、主張することが大事
- ・福井県出身の作家「水上 勉」さんの密着ドキュメンタリーの撮影をしたことがある。水上さんは難しい方で、他のスタッフが何を言ってもダメと言われていたが、私が同郷ということが分かり密着取材を受けてもらえた。同じ地元で育ったという繋がりだけが、繋がり的大事。
- ・いまま映像技術は発達進化しており、今後、VRやARなどのコンテンツが出てくるので是非勉強していただきたい。

④私の勝山高校時代

- ・私は団塊の世代で、当時は1学年10クラス。しかし私のクラスには野向町の人はい人もいなくて寂しかった思いがある。当時、進学クラスは部活動禁止だったが規則を破り放送部に入った。途中でばれて半年で退部。

⑤私がNHKを選んだ理由、エピソード

- ・小学生の頃から新聞大好き人間だった。マスコミ志望の原点だったかも。新聞は是非読んでいただきたい（新聞を毎日読んでいる人→0人）
- ・学生時代の経験からお金儲けをする会社は嫌だと思い、お金儲けを目的としないNHKを選んだ。

⑥私が経験した苦闘や挫折

- ・英語力のなさで大変苦労した。外国人と話す機会も今後多くあると思うが、物おじせず話してほしい。
- ・怒鳴り散らすパワハラ局長と仕事をしたことがある。普通なら精神的に参ってしまうが「怒ることでは表現ができない可哀想な人」と思うようにして対応した。自

分に余裕を持つことによって楽になる。

- ・現場が大事。世の中、現場を軽視する傾向があるが、現場こそアイデアの宝庫。

⑦私から皆さんへのメッセージ

- ・今後、皆さんは色々な経験をしていくことになるが、打たれ強くあってほしい。
- ・失敗は沢山してほしい。失敗は成功するためには必要なことで、その後の肥やしになる。
- ・調子が良い時ほど危険信号。そのような時ほど注意しないとイケない。
- ・色々な方と付き合っしてほしい。特に自分の意見と違う人とも付き合っしてほしい。
- ・いまの事だけ考えてはいけない。これだけ技術革新が激しいと、今は輝いているかもしれないが5年後は無くなっているかもしれない。NHKでハイビジョンやインターネットを始めたころ、みんなから見向きもされず「邪魔者扱い」された。でも今は…。
- ・何事にも面白がって欲しい。いやな仕事でもまずは面白がる事。それが次につながる。
- ・これからはAI（人工知能）の時代になる。そのため「考える力」が求められる。また世の中の変化が激しい今、一生勉強し続けなければ生き残れないかもしれない。今から自分の生き方を、自分で考えていただきたい。

(質疑)

Q 生放送時の遅延は何秒ぐらいあるのか。

A 電波でいうと2秒ちかくある。生放送の掛け合いをどうするかなど、デジタル時代特有の問題である。